

ハローキャリアワーク通信



昭和信用金庫からオファーのあった「シモキタ三ツ星バザール2024」が11月9日、10日に開催し、子どもたちが企画したブースを10日（日曜日）に出店しました。天気予報が思わしくありませんでしたが、子どもたちのやる気に応じて、その影響は受けませんでした。開始前には、企画した3つのコーナーの準備を行いました。「的当て」は、昭和信用金庫が立派なものを用意してくださり、担当の子どもたちは、投げる線を幼児用、小学生用、大人用とテープを貼って準備し、試し投げをしました。



「おみくじガチャ」は、ガチャの機械に、カプセルに詰め込まれた「おみくじと、景品」（300個）をガチャの機械に入れ準備しました。さらに「お絵かきコーナー」は、模造紙をパネルに張り付け、机をセットし、用意して下さった大きい「付箋紙」とクレヨン、ポスカ、色鉛筆などを使ってもらいます。また、



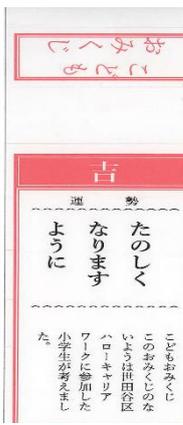
「フコク生命」「J:COM」のご協力により用意いただいたお土産を来場者に渡す方法を確認しました。最後に、自分たちで作った看板をそれぞれのコーナーで見やすい場所に貼り、教育総合センターの事業推進担当課の担当者から、担当の割り当ての順番や諸注意など、今日の流れを聞き、昭和信用金庫の方からこの日のために用意された「三ツ星バザールTシャツと立派な名刺入れ」を渡され、Tシャツを重ね着し、名刺を携帯して開始しました。最初は、お客さんを待ち構えていましたが、通りすぎてしまうので、「おみくじガチ

ャ、無料で行っています」と大きな声を張り上げて、呼び込みをしました。それを受け、各コーナーでも「お絵かきやりませんか」「的当て楽しいですよ、大人も歓迎します」とどんどん声かけをしていきました。お客さんが次第に来店するようになり、賑わいを見せるようになりました。途中、昭和信用金庫の寄元正則理事長が見え、子どもたちと名刺交換をしてくれました。名刺交換をした子どもは、少し緊張気味に名刺を差し出していました。3つのコ





ーナーで、ローテーションを行い、全員がすべてのコーナーを担当しました。大勢の方に来場していただき、任された時間が来て、「もう少しやりたい」と最後まで大きな声を張り上げていました。最後に、昭和信用金庫の方から「ありがとう、たくさんの方に来ていただけてよ



かったです」とのお褒めの言葉をいただきました。左は、頂いたTシャツと名刺、名刺入れです。そして、子どもたちが考えた「おみくじ」です。





